

BOstudio CSR 活動報告書 2008



株式会社ビー・オー・スタジオ

目次	
1. 社長メッセージ	4 P
2. 会社概要	5 P
3. CSR 活動概要	6 P
4. CSR 活動報告	
温室効果ガス削減：チーム・マイナス 6%加入	7 P
ごみ処理	
分別の徹底	
機密文書溶解サービスの導入	
エコキャップ運動⇒プラキャップごみの削減	
エコバッグの制作・支給⇒買い物袋ごみの削減	
MY 箸の支給⇒割り箸ごみの削減	
割り箸回収	
ごみ排出量の監視	
使用電力量の削減	
待機電力の削減	
オフィスの空調管理の徹底	
加湿器の導入	
サーキュレータの導入	
使用電力量の監視	
情報収集・社内啓発	
エコプロダクツ 2007 への出席	
『不都合な真実』鑑賞	
社内啓発（割り箸と環境負荷、鬱病）	
社会活動	12 P
切手収集	
エコキャップ運動	
渋谷区クリーンキャンペーン	
個人情報保護	13 P

労働環境の改善	14 P
加湿器の導入	
オフィスエントランスの整備	
マガジンラック	
エントランスマット	
シール	
サーキュレータの導入	
オフィスグリコ	
掃除について	
食器の購入	
置き薬の導入	
レクリエーション（花見）	
社内での活動報告状況	16 P
月例報告	
新人研修	
社外への情報公開	16 P
CSR ブログ	
年次報告書	

1. 社長メッセージ

環境問題が社会問題化し、エコブームとも言える昨今、たくさんのエコサービス・エコ商材が登場しています。

大企業は、その活動における地球環境へのインパクトが大きいため、取り組みややり方も大規模なものにならざるをえません。

では、取り組みそのものを大企業に任せておけばよいのかと言えば、そんなことはありません。

日本の約 95%が中小企業ということを考えると、「塵も積もれば山」となり、その影響力は大きいのではないかと考えます。

当社はその小さな「塵」を積み上げたいと思い、2007年10月からプロジェクトチームを立ち上げ、本格的に CSR 活動を始めました。

コンセプトは、「やれることからやっつけよう！」という非常にシンプルなメッセージとなっています。無理をする必要はないのですが、自分達の身の回りでやれることはたくさんあるだろうということです。

大規模な寄付はできないかもしれません。

エコ関係のイベントにたくさんの時間を使って参加できないかもしれません。

しかし大事なのは、「今そこにいる自分達が何をやっているか」だと思います。

今回は、その「何をやっているか」を「CSR 活動報告書」としてまとめました。

私たちの小さな小さな「塵」を是非ご覧になってください。

数年後に「山」の一つになれば幸いです。



代表取締役社長
川添 祐貴

2. 会社概要

企業理念はプロセスと結果の両輪を重視し、21世紀のデジタル社会に貢献していくこと。IT業界もバブルを乗り越え、2003年あたりからまた動きが活発になってきました。web2.0と呼ばれる昨今、技術革新はとどまることを知らず、ますます早いスピードで進化していきます。経済至上主義社会に突き進む世の中で、自分を見失わずいったい何を行うべきか、そして何を行うことができるか、という考えがビー・オー・スタジオの原点です。技術は手段であり目的ではないという基本を徹底し、インターネットを活用した上で、いかに企業そして社会に貢献することができるかを考え追求していく、そのような会社が私たちビー・オー・スタジオです。

社名 株式会社 ビー・オー・スタジオ
設立 2003年10月10日
住所 〒156-0036
東京都渋谷区南平台町2-12 渋谷南平台ビル4F
TEL:03-5784-1045
FAX:03-5784-1046



役員

代表取締役 川添 祐貴 (かわぞえ ゆうき)
取締役 政 寛之 (まさ ひろゆき)

事業内容

web 戦略コンサルティング
SEO 調査
web サイト調査及び評価
web サイト企画・制作
運営体制コンサルティング
web サイト完全受託運用
自社コンテンツ・サービスの運用
新規事業開発

企業理念

常にお客様企業の問題解決という視点から机上の空論ではなく、スピーディに高品質で具体的なソリューションを提供し、益々複雑化している21世紀のビジネス社会に対応し貢献します。

3. CSR 活動概要

弊社は 2007 年 10 月よりプロジェクトチームを立ち上げ、本格的に CSR 関連の取り組みを開始しました。

創業 6 年目、小さな企業である弊社にとっての CSR 活動は、大企業における活動のように社会全体への大規模・多角的な働きかけを直接行えるものではありません。



しかしながら、ごく小さな活動であってもやれることから、そしてできることから始めるということは可能であり、その小さな活動が集まることにより、最終的には社会に対して大きく貢献できると考えます。

そのためには、まず社内で小さな活動・改善を積み上げ、社長含めたスタッフの CSR に対する意識を高めていくことが重要になります。

その意識の高まりが、家庭や個人同士のつながりといった、小さな社会に働きかける原動力にもなればと思い、地道な CSR 活動に取り組みます。



株式会社ビー・オー・スタジオ
CSR チームキャラクター アリビオ

コンセプトは、

「小さな活動をこつこつ積み重ねる」そんな勤勉なイメージ。

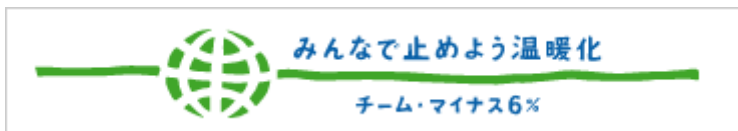
そこで、コンセプトにぴったりのモチーフとして、

「あり」

働きあり一匹一匹はちっぽけで非力です。飛ぶこともできず、地面の低いところを自分の足で進むことしかできません。そんなありが寄り集まって地中に大きな巣をつくり、力を合わせて守り立てていく姿を、われわれ BOstudio も見習いたいと考えました。

4. CSR 活動報告

■温室効果ガス削減：チーム・マイナス 6%加入



◆ごみ管理

環境 CSR 活動を開始するに当たり、基本的な活動として早い段階から着手していたのがごみの問題でした。

◆ごみ処理

○分別の徹底

従来は、オフィスから出るごみの分別が比較的あいまいになりがちでした。これに対し、まずは渋谷区のごみ処理要領に基づいた社内のガイドラインを明文化し浸透させる取り組みから着手しました。

- ・可燃ごみ
- ・不燃ごみ
- ・古紙
- ・ペットボトル：洗浄し、ラベルとキャップを取り除いてつぶす
- ・缶：洗浄する
- ・びん：洗浄し、キャップを取り除く



これにより、弊社がオフィスを置く渋谷区のごみ処理要領に沿ったごみ排出が行えるようになりました。また、資源ごみを適切に分別することで、可燃ごみ・不燃ごみの排出量削減にもつながっています。

○ごみ排出量の削減

ごみ分別ガイドラインに続いて取り組んだのが、ごみ排出量そのものの削減でした。

1) 機密文書溶解サービスの導入

社内でのごみの分別の取り組み以前は、紙ごみはほぼすべて可燃ごみとして排出していました。これを古紙として資源ごみに分別すること

で、紙ごみの削減を図りました。しかし、紙ごみの大半を占める業務関連の機密書類は排出前にシュレツダ処理しており、そのため紙資源として利用することができませんでした。

そこで、2007年11月よりこれら機密文書の処理を社内でのシュレツダ処理から専門業者による溶解処理に切り替えました。これにより、シュレツダによる紙ごみをほぼゼロにすることができました。



2) エコバッグ・MY 箸の支給

弊社が排出する可燃ごみ・不燃ごみのうち、削減対象として「買い物袋」と「割り箸」に注目しました。

弊社の社員は昼食を社外から買って帰ることが多く、それに伴って毎日これらのごみが排出されていました。

そこで、2007年12月に弊社ロゴ入りの「エコバッグ」、続いて翌2008年2月に「MY 箸」を全従業員に支給しました。そして昼食の際には積極的にこれらを使用し、使い捨ての買い物袋や割り箸を店頭で受け取らないようにする活動を展開しています。さらに、出前のお弁当などに付属していた割り箸についても使用せずストックし、ある程度の量になった段階で資源化できるようにしています。社員への意識の浸透には若干の時間を要しましたが、現在では買い物袋や割り箸のごみはほとんど排出されなくなっています。



3) エコキャップ活動

弊社は2008年3月から『エコキャップ』活動に参加しています。

『エコキャップ』活動は、NPO法人エコキャップ推進協会が主催する社会貢献活動です。ペットボトルのキャップを収集し、リサイクル資源として売却した収益を JCV（世界の子どもにワクチンを日本委員会）にポリオワクチン購入資金として寄付しています。従来は不燃ごみとして排出していたボトルキャップを資源化すること



で、不燃ごみの排出量を削減することができました。また、福祉活動としても微力ながら貢献することができるようになりました。

今期は 615 キャンプを、ポリオワクチンの購入資金として送付しました。

◆機密文書溶解サービスの導入

- エコキャンプ運動⇒プラキャンプごみの削減
- エコバッグの制作・支給⇒買い物袋ごみの削減
- MY 箸の支給⇒割り箸ごみの削減
- 割り箸回収
- ごみ排出量の監視

上記の取り組みに対する効果測定、およびさらなるごみ排出量の削減を目指して、2008 年 4 月より毎月のごみ排出量を社内で定期的に報告しています。

ごみの量や内容を定期的に見直すことで、ごみ排出量削減の糸口を探っています。

■【温室効果ガス削減：使用電力量削減への取り組み】

弊社は環境 CSR 活動の一環として「温室効果ガスの削減」に取り組んでいます。取り組みへの着手を受けて、2007 年 12 月から「チーム・マイナス 6%」にも参加しています。Web ソリューション事業を営む弊社にとって、温室効果ガスの削減には大きく 2 つの取り組みが必要であると考えました。

- ・可燃ごみの排出量削減
- ・使用電力量の削減



先行して進んでいたごみ処理の取り組みに続いて、2008 年冬季より使用電力量削減への取り組みに着手しました。

◆使用電力量の削減

- 待機電力の削減

使用電力量の削減を目指して、最初に取り組んだのが電気機器のいわゆる待機電力の削減でした。

オフィスの電気機器の利用状況を調査し、具体的な活動内容を以下のとおりまとめ



ました。

- ・ PC ディスプレイ…離席時には電源を切る
- ・ レーザプリンタ…退社時には電源を切る
- ・ プロジェクタ、シュレツダ、電子レンジ…使用後は電源コードを抜く

以上の取り組み内容を、オフィス内に
掲示する等して社員に呼びかけました。

これらの取り組みによる節電効果自体はわずかなものですが、
社員の節電への意識付けに役立っています。

◆オフィスの空調管理の徹底

待機電力への社員の意識が高まったところで、抜本的な取り組みとして空調によって消費される電力の削減に着手しました。

過去の使用電力量のデータから、空調の稼働がピークになる夏季にはオフィス全体の使用電力量の約半分が空調によるものであることが推測されます。この空調による使用電力量を削減することで、温室効果ガス削減に大きな効果をあげることができるものと考えました。

具体的な取り組みとしては、以下の3点があげられます。

・ オフィス室温の管理（クールビズ／ウォームビズ）

（財）省エネルギーセンターでは、空調稼働時の室温を夏季 28℃／冬季 20℃とすることを奨励しています。この指標に基づいて必要十分な空調の稼働を維持できるよう、オフィス内の各フロアに室温計を設置し室温を常時監視することとしました。



・ 衣服による調整

弊社では週1日「スーツデイ」として全社員がスーツを着用して出勤する日を設けています。比較的弱い冷房の下でも快適に業務を進められるよう、このスーツデイの服装基準を緩和することとしました。例えば夏季はネクタイの着用を任意としています。

・サーキュレータ、加湿器の設置

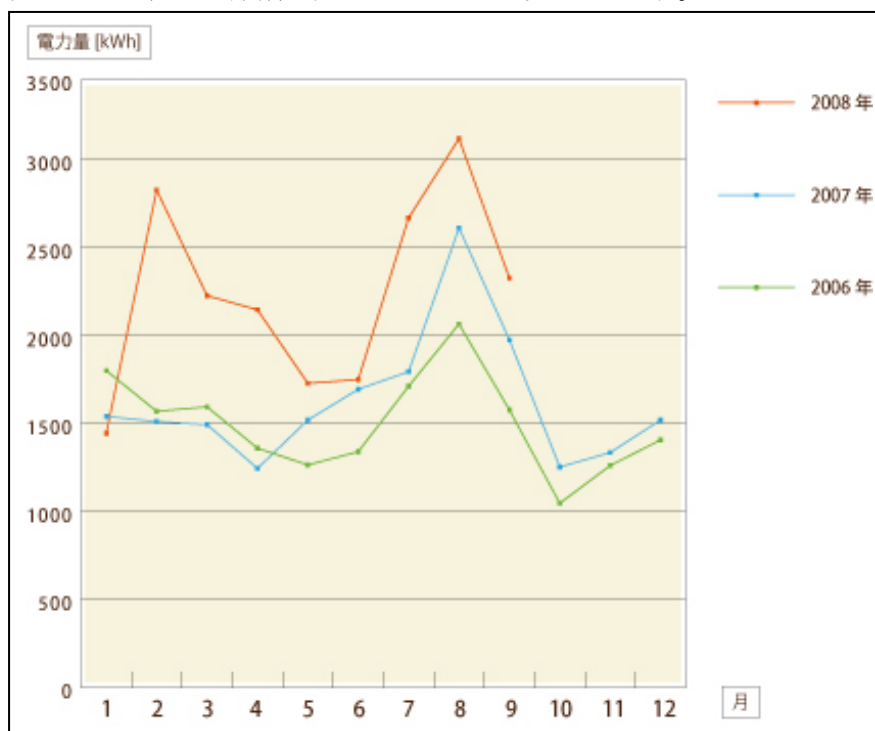
通常のエアコンによる空調に加えて、サーキュレータや加湿器などを併用することでより少ない使用電力量で快適な空調環境を作れるようオフィスを整備しました。



◆使用電力量の監視

2008年6月より、毎月の使用電力量を社内に報告しています。上記の取り組みがどの程度の成果をあげているか把握したいという社員からの要望を受けてはじめたものです。

記録が残っている2005年1月からの使用電力量の推移と照らし合わせて、その月の取り組みが効果的であったか、またどこを改善していけばよいか、データの解釈について社内で議論を交えながら日々考えています。



◆情報収集・社内啓発

エコプロダクツ 2007 への出席

『不都合な真実』鑑賞

社内啓発 (割り箸と環境負荷、鬱病)

■社会活動

◆切手収集

医療機関への車いすの寄付を目標に『使用済み切手』の収集に取り組んでいます。

1kgあたり1,000円～2,000円で切手商や団体に引き取ってもらい、これを元手に車いすを購入・寄付します。

従来はごみとして排出していた切手を収集することで、微力ながらごみの排出量を削減することができました。



また、福祉活動としても車いすを購入・寄付するという目標に向けて、『使用済み切手』の収集に取り組んでいます。

◆エコキャップ運動

弊社は2008年3月から『エコキャップ』活動に参加しています。

『エコキャップ』活動は、NPO法人エコキャップ推進協会が主催する社会貢献活動です。ペットボトルのキャップを収集し、リサイクル資源として売却した収益をJCV（世界の子どもにワクチンを 日本委員会）にポリオワクチン購入資金として寄付しています。

従来は不燃ごみとして排出していたボトルキャップを資源化することで、不燃ごみの排出量を削減することができました。

また、福祉活動としても微力ながら貢献することができるようになりました。

今期は615キャップを、ポリオワクチンの購入資金として送付しました。



◆渋谷区クリーンキャンペーン

BOstudioでは、渋谷区役所主催による渋谷区クリーンキャンペーンに参加しています。

一定期間、区民、事業者及び区が一体となって清掃活動や環境美化に関する啓発活動を行います。

会社近隣の清掃活動により、近隣住民との

コミュニケーションや街の美化に貢献、社員の環境に対する意識を高められたと感じております。



■個人情報保護

ビー・オー・スタジオでは個人情報保護に対する社会的要請を十分に認識しており、CSRの観点からも、お客様や従業員の個人情報を適切に取り扱うことは、企業の責任であると考えています。

安心・安全なサービスを提供し、皆様に信頼される企業であり続けるためにも、以下の取り組みを実施しております。

◆プライバシーマークの取得

個人情報保護に対する意識の向上、安全管理の実践をめざし、財団法人日本情報処理開発協会（JIPDEC）が運営するプライバシーマークを取得しました。（2007年4月取得）

* プライバシーマーク制度は、日本工業規格

「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム—要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。



本年度は新しい認定規格である2006年度版

JIS Q 15001に対応させるために更新作業を進めてきました。

◆全社員（派遣社員等含む）への研修会の実施

PMS(個人情報保護マネジメントシステム)規定の遵守と具体的な個人情報情報の取扱い・管理方法を周知徹底するために全社員（派遣社員等含む）対して研修会を実施しております。

◆個人情報保護の理解度チェック

個人情報保護の理解度を推し量るために、全社員に対し、Webを用いた自己診断テストによる理解度チェックを実施しています。各設問の後には解答と解説を付け、誤った理解をしている場合は、すぐに復習できるものを採用し、また、合格に満たない社員には再テストを行なっています。

■労働環境の改善

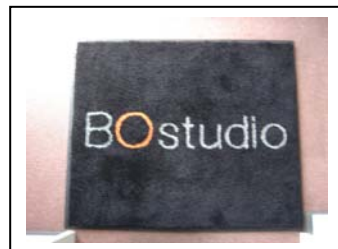
◆加湿器の導入

加湿器の導入により、冬場の室内乾燥を防ぎ、病気の予防対策、または、エアコンを使用しなくてもある程度の温度の上昇を助け、電力減少にも貢献しております。



◆オフィスエントランスの整備

- ・マガジンラック
- ・エントランスマット
- ・シール
- ・Pマーク認定証設置



来社されたお客様、社員が気持ちよくエントランスを使用できるよう、エントランスに会社ロゴ入りのマットを置き、マガジンラックの設置や会社のロゴシールの張り替えを行いました。

これにより、以前より、エントランスがきれいになり、来社されたお客様にも気持ちよくエントランスを使用していただいております。

◆サーキュレータの導入

サーキュレータの導入により、空気の循環が良くなり、エアコンの稼働率を抑えることに成功しました。
これにより、電力減少に貢献しております。



◆オフィスグリコ

社内にオフィスグリコを設置し、社外に出なくてもちょっとお腹がすいたときにはおやつが食べれるようになりました。健康のことも考え、食べ過ぎないようにお菓子を量をチェックしています。



◆掃除について

BOstudioでは週2回の掃除があります。

掃除がきちんとされているか、チェックシートをつくり掃除のチェックをしております。

これにより、いつでも綺麗なオフィスを保つことが出来ます。

◆食器の購入

社内で使える食器とフォークを購入
これにより、紙皿やプラスチックのフォークの
使用がなくなりました。



◆置き薬の導入

体調が悪いときに、買いに行かなくても薬が飲めるよう
に社内に薬箱を設置しました。
健康のためにも置く薬を選んで、どのくらい薬を使用し
ているかチェックを行っています。



◆レクリエーション

社内でのコミュニケーションと団結力を高めるために、
社員全員で花見やバーベキューを行っています。
社内での結束力に、貢献しています。



◆社内での活動報告状況

○月例報告

毎月第2週に、社内で CSR の活動報告を行っております。取組んでいる活動の結果を伝えることにより、社員の環境活動の意識が高くなっていると感じております。



◆新人研修

CSR の意味から、BOstudio で取組んでいる環境活動の研修をし、BOstudio の CSR 活動について、よく知ってもらい、同時に環境への意識を高めてもらうための研修を行っております。

◆社外への情報公開

○CSR ブログ

BOstudio が取組んでいる CSR 活動を、ブログにより情報発信しています。日頃の活動報告から、CSR 活動の成果、CSR 活動での悩み事などを掲載しております。



○年次報告書

08年度、CSR 報告書を制作し、公開しております。

